



平成 29 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 フィデアホールディングス株式会社  
代 表 者 名 代表執行役社長 CEO 田尾 祐一  
コード番号 8713 東証第一部  
問 合 せ 先 執行役副社長 CFO 宮下 典夫  
(TEL. 022-290-8800)

### 第 3 次中期経営計画策定のお知らせ

フィデアホールディングス株式会社（本社：仙台市、代表執行役社長：田尾 祐一）は、平成 29 年度から平成 31 年度までの 3 年間を計画期間とする第 3 次中期経営計画を策定いたしましたので、その概要についてお知らせいたします。

平成 25 年度からの第 2 次中期経営計画においては「地域の舞台づくりと革新の土台づくり」をテーマに、成長分野や復興支援のための地域プロジェクトに積極的に参画するなど成果をあげてまいりました。第 3 次中期経営計画においては、第 2 次中期経営計画の取り組みを更に進化させるとともに、オープンプラットフォーム戦略によるグループシナジー効果の一層の発揮により、いかなる経営環境においても地域の発展に力強く貢献し、地域とともに成長する広域金融グループを目指します。

記

#### 1. 名称

第 3 次中期経営計画

#### 2. 計画期間

平成 29 年度～平成 31 年度（3 ヶ年）

#### 3. 第 3 次中期経営計画におけるフィデアグループの目指す姿

- (1) 地域に密着した広域金融グループとして、地方創生に貢献し続ける
- (2) お客さま・地域の持続的成長を支える筋肉質な経営基盤を確立する

地方での人口減少や少子高齢化の加速、金融緩和政策の継続、世界経済の不確実性の高まりなど、取り巻く経営環境は一層厳しさを増していくことが予想されます。

このような中でフィデアグループは、そうした環境変化に対応し、将来にわたりお客さまと地域の持続的成長を支える筋肉質な経営基盤を確立するとともに、いかなる経営環境においても地域の発展に力強く貢献し続ける広域金融グループを目指します。

#### 4. 目指す姿を実現する第 3 次中期経営計画のスローガン

Consulting & Innovation

地域のお客さまとの持続的な信頼関係の中で、事業の評価能力を高めてコンサルティング営業を実践し、お客さまの課題を見つけ出し解決する知恵袋としての存在価値を高めてまいります。

また、フィデアグループ全体で、地域社会及び自らの新しい価値創造を持続的に生み出す組織改革に取り組み、一層の収益力向上と効率性・品質向上を実現し、将来の環境変化に耐えられる筋肉質な経営体質の構築を図ります。

## 5. 基本方針

- |  |
|--|
| (1) 事業性評価をベースとしたコンサルティング機能の発揮  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 事業性評価による地域のお客さまとの対話を通じた個別の経営課題やニーズの共有と適切なソリューションの提供</li> <li>➤ 営業店・本部一体のチーム営業展開と事業承継、M&amp;A、事業再生支援等コンサルティング機能の高度化</li> </ul> |
| (2) 高効率なリテール営業体制の確立  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ リモートチャネル等非対面チャネルの拡充と顧客接点の拡大</li> <li>➤ 有望マーケットへの人材再配置と業務の収益性に見合う営業体制の確立</li> </ul>  |
| (3) お客さまのニーズにお応えするための人材育成の強化   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 高いコンサルティング力を支える人材教育の充実</li> <li>➤ ダイバーシティの一層の推進と、そのための働き方改革への取り組み強化</li> </ul>  |
| (4) 業務効率化の追求   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 店頭営業の効率化や後方事務極小化など、営業店業務改革の推進</li> <li>➤ グループ内の本部機能、事務・センター等の更なる統合</li> </ul>   |
| (5) マーケット変化に応じた市場運営体制の確立   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 市場環境変化に応じた機動的かつ適切なリスクテイクによる安定収益の確保</li> </ul>   |

## 6. 目標とする指標

指 標	平成32年3月期 (平成31年度計画)
親会社株主に帰属する当期純利益	30億円以上
役務取引等利益比率 (コア業務粗利益対比)	19%以上
連結自己資本比率	9%台

以上

### 【本件に関するお問い合わせ先】

フィデアホールディングス㈱ I Rグループ 大石 TEL : 022-290-8800

# 第3次中期経営計画

## ～Consulting & Innovation～

計画期間（3年間）  
平成29年4月～平成32年3月

フィデアホールディングス株式会社

# 第3次中期経営計画の概要①



## 第3次 中期経営計画

(計画期間 平成29年度～平成31年度)

### 目指す姿

「地域に密着した広域金融グループとして、地方創生に貢献し続ける」  
 「お客さま・地域の持続的成長を支える筋肉質な経営基盤を確立する」

スローガン

## Consulting & Innovation

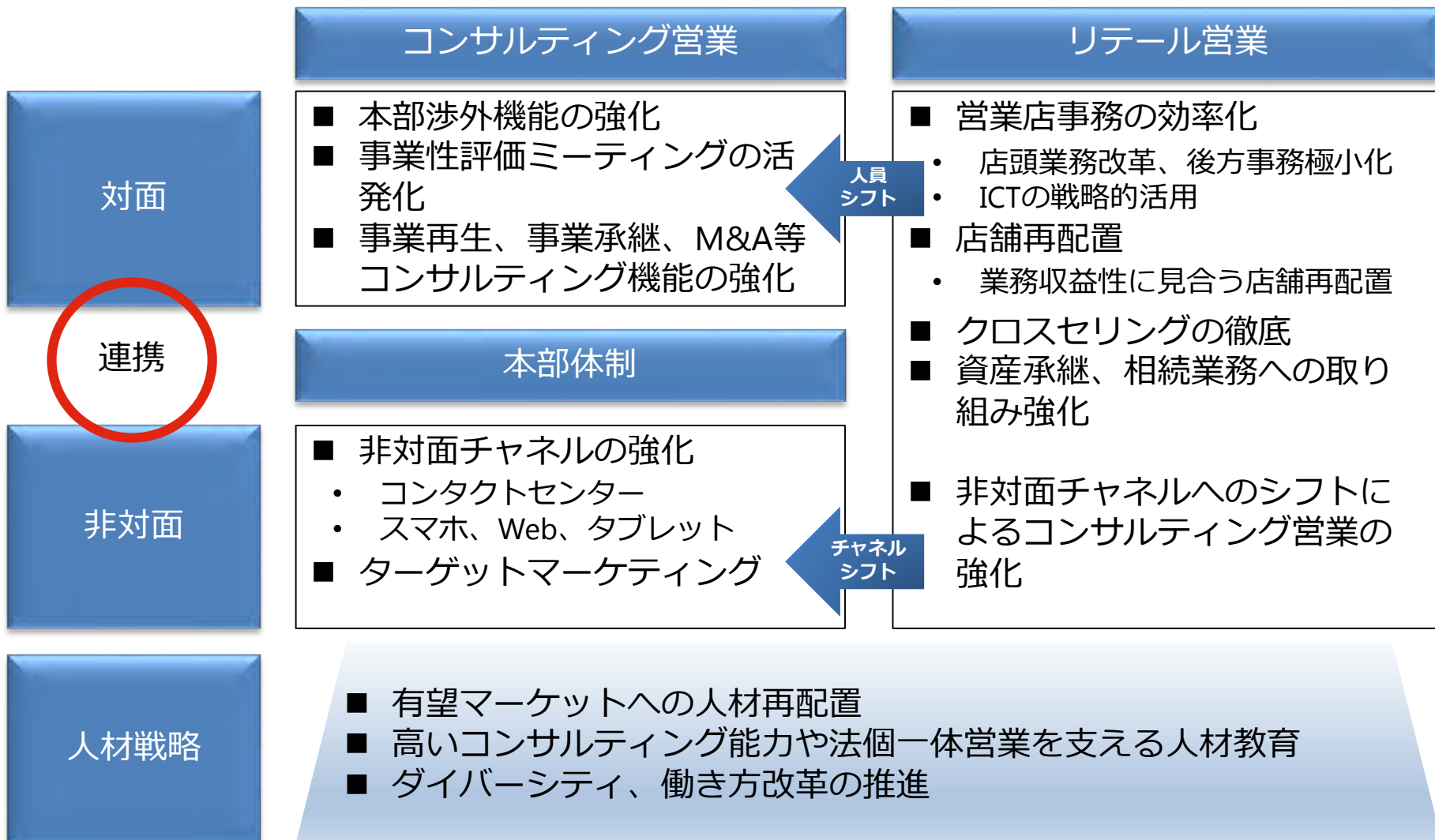
基本方針

- (1) 事業性評価をベースとしたコンサルティング機能の発揮
- (2) 高効率なリテール営業体制の確立
- (3) お客さまのニーズにお応えするための人材育成の強化
- (4) 業務効率化の追求
- (5) マーケット変化に応じた市場運営体制の確立

# 第3次中期経営計画の概要②



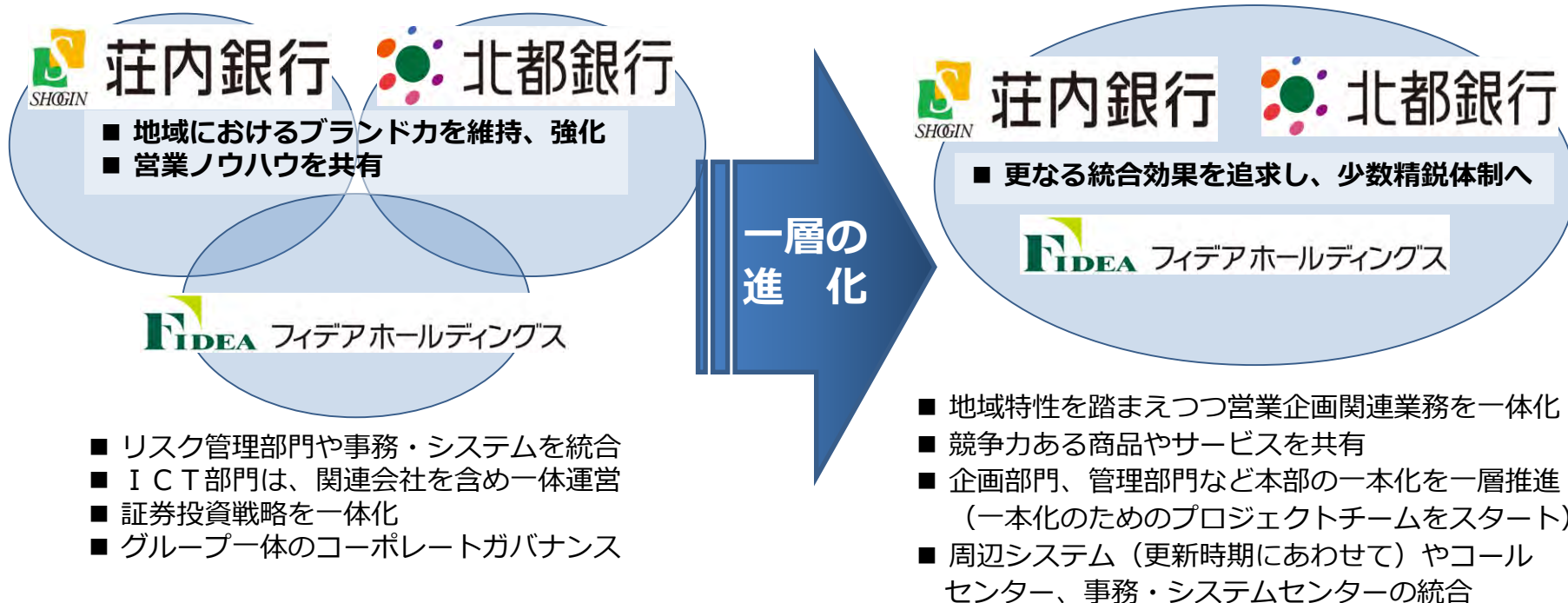
- コンサルティング機能を発揮し、お客さまの課題を見つけ出し解決する知恵袋として新しい価値を創造。



# オープンプラットフォーム戦略の進化



- ① 両銀行は営業地域における取引維持・拡大に注力するとともに、地方創生プロジェクトにこれまで以上に積極的に関与。
- ② コーポレート機能の持株会社への集約等、両銀行の営業力強化に向けた更なる本部機能の統合を推進。
- ③ 平成29年4月より営業企画関連部門は一体化。商品、事務・システムセンター等の早期統合を図る。



# 目標指標



指標（連結）	項目	平成31年度目標
収益性指標	親会社株主に帰属する当期純利益	30億円以上
経営戦略指標	役務取引等利益比率 （コア業務粗利益対比）	19%以上
健全性指標	自己資本比率	9%台

- 事前にフィデアホールディングス株式会社の許可を得ることなく、本資料を転写、複製すること、または第三者に配付することを禁止いたします。
- 本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。

[当資料に関するお問い合わせ先]      フィデアホールディングス株式会社  
I Rグループ 大石 (Tel : 022-290-8800) 佐藤 (Tel : 023-626-9006) 市田 (Tel : 018-833-4211)